

■営業実績 (国内;単体ベース)

		前年比(%)
既存店	日商	107.4
	客数	108.5
	客単価	99.0
全店	売上高	107.9

※ 既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

■店舗数

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	13	54	/	/	/
閉店	15	61			
純増減	△ 2	△ 7			
月末店舗数		15,718	16,637	8,313	24,950

■AFC別月末店舗数

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
328	387	204	919

当月の総括

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の延長や、発令地域の追加の影響は見られるものの、都心部やオフィス街でも客数が前年を上回り、売上・客数は前月に続き回復傾向が鮮明に見られた。ファミマ40周年「40のいいこと!?'」の施策も引き続き好調に推移し、5月の売上・客数の既存比押し上げに貢献した。

さらに、消費者のライフスタイルに合わせた品揃えの強化・拡充をしている、日用品及び日配・生鮮品や惣菜等の日常使い商品も引き続き好調を維持している。

【FFコーヒー】	ファミマ40周年「40のいいこと!?'」の1つ「もっと美味しく」の施策として発売した「リッチフラッペストロベリー2017」が好調に推移し、前年を大きく上回った。
【日用品】	PB衣料品「コンビニエンスウェア」や日用品100円(税込110円)シリーズが好調に推移し、前年を大きく上回った。
【調理麺】	例年より早い西日本エリアの梅雨入りにより、温かい麺が好調に推移。調理麺30円引きセールの効果もあり、カテゴリ全体で前年を上回った。
【文具・玩具】	人気アーティストによるキャラクターの一番くじが好調に推移し、前年を大きく上回った。

株式会社ファミリーマート 月次営業実績の推移[2021年度]

■営業実績(国内;単体)

前年比(%)		21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
既存店	日商	100.0	109.1	107.4									
	客数	95.7	110.2	108.5									
	客単価	104.6	99.0	99.0									

※既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

前年比(%)		21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
チェーン全店売上高		101.8	110.8	107.9									

■店舗数

	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2	合計
出店	20	21	13										54
閉店	37	9	15										61
純増減	△ 17	12	△ 2										△ 7
月末店舗数	15,708	15,720	15,718										15,718

国内AFC	923	921	919										
国内計	16,631	16,641	16,637										
海外AFC	8,318	8,314	8,313										
国内外計	24,949	24,955	24,950										

・国内AFC内訳

	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
沖縄	329	328	328									
南九州	388	388	387									
JR九州リテール	206	205	204									
国内AFC計	923	921	919									